

令和6年度 子ども大学こしがや・まつぶし

1. 実施体制

子ども大学こしがや・まつぶし	学長	北畠 義典（埼玉県立大学 地域連携センター長）
	副学長	—
子ども大学こしがや・まつぶし 実行委員会	実行委員長	小林 哲也（松伏町教育委員会 教育文化振興課 主幹）
	実行委員 （関係団体）	埼玉県立大学、文教大学、一般社団法人越谷青年会議所、NPO法人子育てサポーター・チャオ、越谷市教育委員会、松伏町教育委員会
	問合せ先	TEL：048-991-1873（松伏町教育委員会 教育文化振興課） FAX：048-991-1902

2. 事業内容

開催回数	5回	開催期間	令和6年10月12日～令和6年11月30日			
参加者数	43名	内訳	小学4年生	14名		
			小学5年生	15名		
			小学6年生	14名		

3. 実施内容

1 日目	開催日時	1 0 月 1 2 日 (土)	
		1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0 (入学式含む)	
	は て な 学	会場	
講義名		「心を通わすコミュニケーション」	
講師		埼玉県立大学 保健医療福祉学部 准教授 川田 虎男 保健医療福祉学部 准教授 伊藤 知子	
			バースデーチェーン (ジェスチャーのみで誕生日順に並ぶ)
2 日目	開催日時	1 0 月 2 0 日 (日)	
		午前グループ 9 : 3 0 ~ 1 1 : 4 5 午後グループ 1 2 : 1 5 ~ 1 4 : 3 0	
ふ る さ と 学	会場	越谷市民まつり会場内	
	講義名	「子ども大学こしがや・まつぶし学園祭」	
	講師	NPO法人子育てサポーター・チャオ	
			店員として販売体験

3. 実施内容

3 日目	開催日時	1 0 月 2 6 日 (土)	
		1 4 : 0 0 ~ 1 5 : 3 0	
は て な 学	会場	文教大学	<p>日本とマレーシアの学校での過ごし方の違いを中心に学ぶ</p>
	講義名	「日本人が住んでみたい国No.1 マレーシアってどんな国？」	
	講師	文教大学 教育学部 教授 手嶋 将博	
4 日目	開催日時	1 1 月 9 日 (土)	
		1 4 : 0 0 ~ 1 5 : 3 0	
は て な 学	会場	文教大学	<p>教えてもらった色遣いを実践</p>
	講義名	「平安時代へタイムトリップ！」	
	講師	文教大学 教育学部 教授 菅原 郁子	

3. 実施内容

5 日目	開催日時	1 1 月 3 0 日 (土)		
		1 4 : 0 0 ~ 1 5 : 4 5 (修了式含む)		
は て な 学	会場	埼玉県立大学		<p>そしゃくチェックガムを使用して自分の「かむ力」を確認</p>
	講義名	「かむ力について学ぼう！」		
	講師	埼玉県立大学 保健医療福祉学部 助教 林 桜		

4. 参加者の声

<p>参加した子供の声 (感想)</p>	<ul style="list-style-type: none">・埼玉県立大学や、文教大学で講義を受けられてとても楽しかった。コミュニケーションや平安時代について、色々なことを知れてうれしかったです。どの講義もとても分かりやすく、楽しかったです。・全部のことが楽しくマレーシアの学習も、かむ力も、平安時代の学習もお店の学習も楽しく学べました。・今回の経験は、普段学校では、学べず、貴重な経験でした。・5日目のかむ力の講義が分かりやすく、実際にガムをかめて楽しかった！ 学園祭で、自分達の担当箇所を進めたりできたし、お客さんがたくさん喜んでくれたので、うれしかった。・4回目の源氏物語のぬり絵が楽しくできて、3回目のマレーシアを学ぶじゅぎょうは分かりやすくてよかった。 学園祭では初めてお金をあつかい物売るがわになれて楽しかった。・新しい友達ができただけで、来年も参加したいと思いました。
<p>保護者の声 (感想)</p>	<ul style="list-style-type: none">・講義を聞くだけでなく、実習形式があるのが良かったです。最終日のかむ力については、日常生活に直結する内容だったので、親としても勉強になりました。グループワークがあり、いろいろな子と交流が出来ていいなと思いました。沢山の学びをありがとうございました。次年度も参加する（したいと言う）と思います。・とても有意義な取り組みだと思います。小学校だけでなく、さまざまな勉強がある事がわかったと思います。また、大学ってどんなところだろう？とさっぱりわかっていませんでしたので、近くにある大学の雰囲気や、どんな勉強ができるのかを知る事ができる良い機会でした。・全日程色々な分野で子供は帰宅するととても楽しそうに話してくれました！これは興味がないだろうと親が勝手に予想していた日程の分野が1番楽しかったと話していたので、日頃触れられないことに触れて興味が出てくれて嬉しく思います。